



【戦評シート】

平成 17年 5月 5日(木)	協会名： 能代市 バスケットボール協会						
場 所：能代市総合体育館	記入者：大山 正道						
チームA 市立船橋 94	{ <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>26 - 17</td></tr> <tr><td>21 - 18</td></tr> <tr><td>25 - 14</td></tr> <tr><td>22 - 14</td></tr> </table> } 63 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>チームB</td></tr> <tr><td>安城学園</td></tr> </table>	26 - 17	21 - 18	25 - 14	22 - 14	チームB	安城学園
26 - 17							
21 - 18							
25 - 14							
22 - 14							
チームB							
安城学園							

スターター	チームA： 4, 6, 9, 10, 16
	チームB： 4, 5, 6, 11, 17
ディフェンス	チームA： マンツーマン ゾーン() その他()
(試合開始時)	チームB： マンツーマン ゾーン(2 - 1 - 2) その他(ゾーンプレス)

市立船橋はマンツーマンディフェンス、安城学園はオールコートゾーンプレスから2 - 1 - 2のゾーンディフェンスで試合が始まる。お互いにディフェンスをがんばり簡単に得点を許さない展開が続く。しかし市立船橋は 中村や 中山の高さを生かした攻撃で少しずつ差を広げていき、残り3分のところで16 - 10の6点リードとなる。これに対し安城学園は相手からファールをもらい、宇佐美や 志賀のフリースローで加点していくが、結局26 - 17の市立船橋の9点リードで第1Qが終わる。

第2Q立ち上がり安城学園がペースをつかむ。国本のカットインや 宇佐美のゴール下などで残り7:30のところで25 - 28の3点まで差をつめる。しかし市立船橋も 中村のリバンドからのシュートやポストプレイで反撃し、簡単に差をつめさせない。そして市立船橋はここから梁瀬や 高橋のジャンプシュートで6連続得点をするなど再び安城学園を突き放し、47 - 35の12点リードで前半が終わる。

第3Qに入っても市立船橋は着実に得点を重ねていく。福田の多彩な攻撃などで残り6:30には55 - 38の17点差まで広げ、安城学園はタイムアウトを取る。しかし安城学園は市立船橋のディフェンスをなかなか崩せず、残り4:30のところで市立船橋がメンバーを総入れ替えしてもペースをつかめず、72 - 49と市立船橋が23点差にリードを広げて第3Qが終わる。

第4Qも市立船橋ペースで試合が進む。中村のジャンプシュートやリバンドからのシュートで着実に得点し、残り8:30のところで80 - 51と29点差までリードを広げる。安城学園はメンバーチェンジやタイムアウトで流れを変えようとするが、市立船橋はその後攻撃の手を緩めず差を広げていく。残り5:00を切ったところで両チームとも1, 2年生を中心とした戦いとなり、お互い随所にはつらつとしたプレーを見せる。結局市立船橋が94 - 63と大きく差をつけて勝利した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。